



2020年3月期第2四半期決算説明会資料

2019/10/30

免責事項

- 本資料は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド（以下：当社）の業界動向、事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来展望についても言及しています。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。すでに知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合があります。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2019年10月30日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。



01

ビジネスモデル

.....

4

02

2020年3月期2Q実績

.....

15

03

2020年3月期通期計画

.....

26

04

APPENDIX

.....

37

ビジネスモデル

AI

国内屈指の分析・
コンテンツ自動生成エンジン



CROWD INPUT

大規模なユーザーによる
投稿・閲覧データ



BIG DATA

国内外の
金融経済企業情報



B2C (メディア事業)

当社のコア・テクノロジーである、業界屈指のAIを活用した自動分析及び自動生成技術と国内最大規模のクラウドインプットを活用したコンセンサス情報生成技術の両輪により高い競争力を創出

B2B (ソリューション事業)

メディア事業で培った知見をB2B (B2B2Cを含む) にも応用し、コア・テクノロジーで生成される各種コンテンツ・情報に加え、豊富な金融経済企業情報を活用し、金融機関をメインにソリューションサービスを提供

事業

MEDIA

月間UU数

≒ **700万人**

月間訪問ユーザー数

≒ **2,000万人**

独自性の高い投資家向け情報サイトを
国内最大規模で展開

上場後、SEOが更に改善しユーザー成長が加速

純広告、成果報酬型広告、ネットワーク型広告に加え、ユーザーへの直接課金が成長を支える

SOLUTION

取引会社

100社+

様々な金融商品の分野で、
主に金融機関向けに情報サービスを提供

地銀・保険・不動産会社を新たな顧客層に

ASP型サービスでストック型収入中心のビジネス

ASPの導入時には、カスタマイズ開発をスポット収入として取得

事業面での特徴

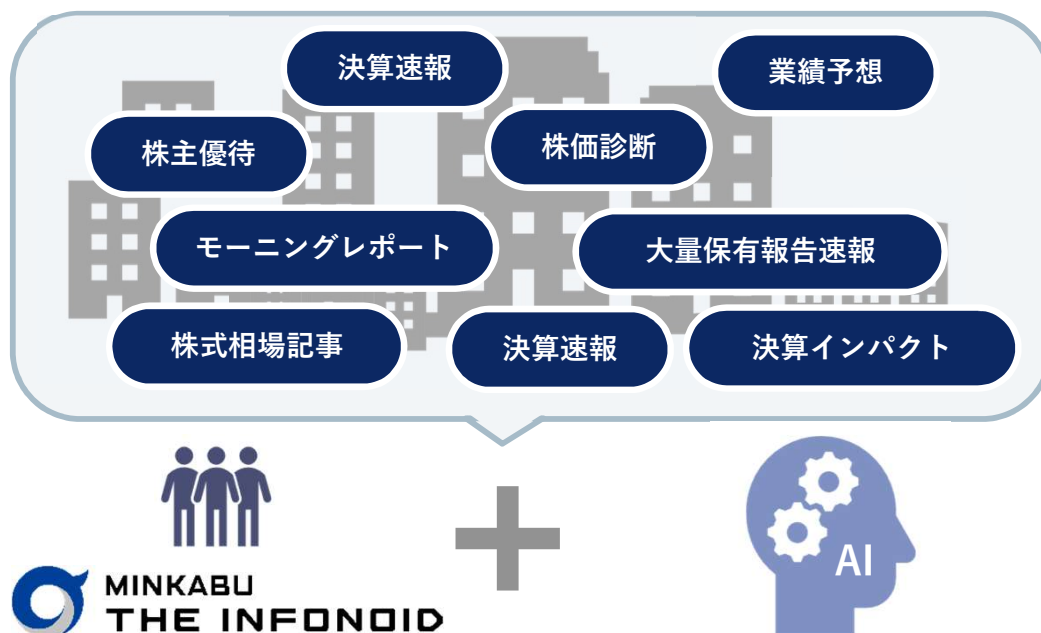
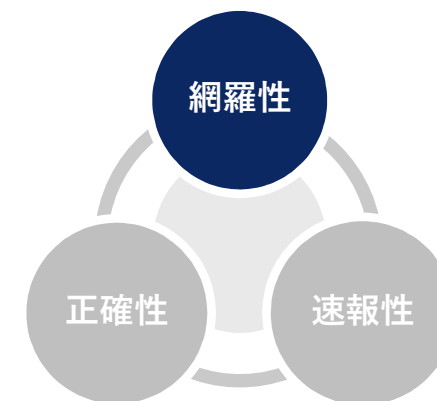
当社の事業面での3つの特徴



事業面での特徴：網羅性

約4,000社の全上場企業の情報を同水準で網羅

- オープンサイトで提供する『**株価診断**』
- 指定した銘柄についてメール配信される『**みんかぶモーニングレポート**』
- 決算発表・業績予想修正・配当予想修正を対象としたニュース『**決算速報**』
- 株価に関連した重要事象や株価速報の記事を配信する『**株式相場記事**』
- 株式の大量保有報告書および変更報告の速報である『**大量保有報告速報**』
- 株主名から保有企業株を逆引きする『**日本の株主**』等

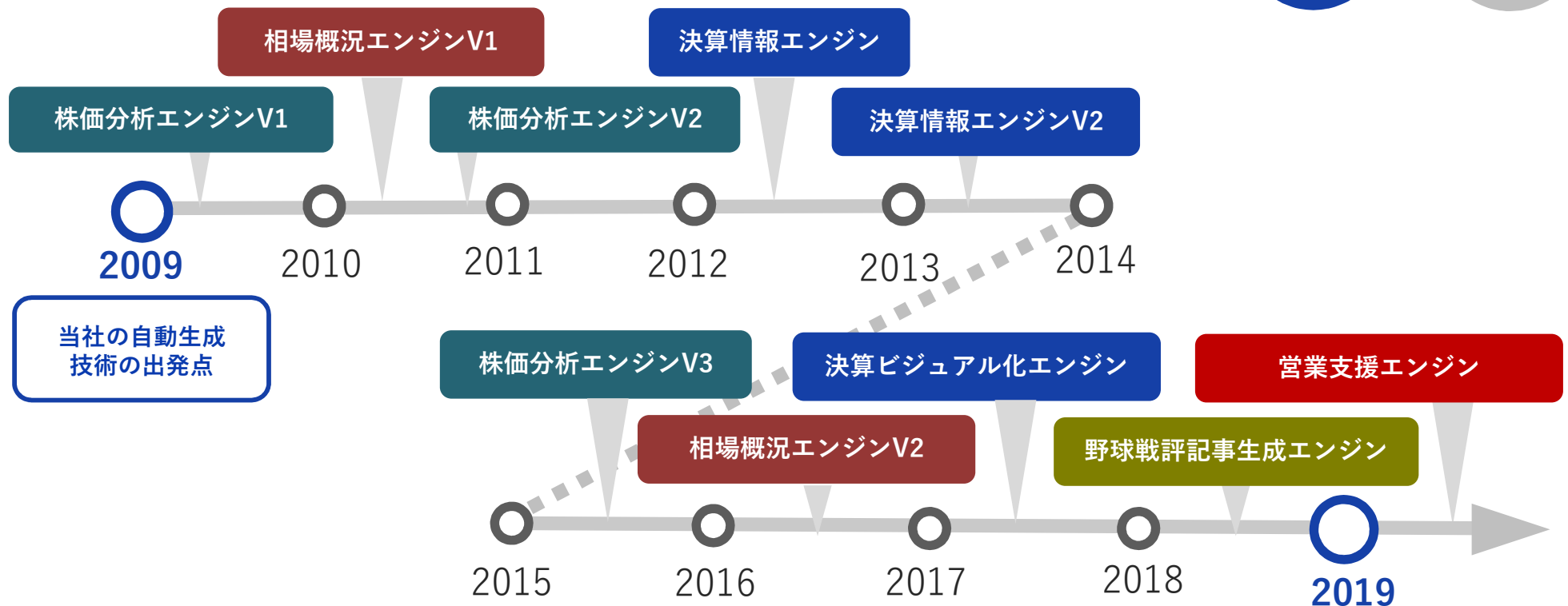
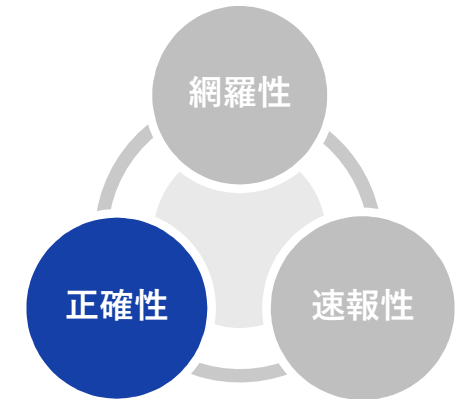


決算インパクトなどの各種ランキングや
為替相場記事を含むマクロ情報はもちろん、
データを持つ全上場会社、一次情報の発信主
体を並列な対象とし、独自のエンジンが注目
度や重要性の濃淡を考慮した情報を自動生成
して配信

事業面での特徴：正確性

日々更新される膨大な量のデータを扱っても人的ミスが発生しない

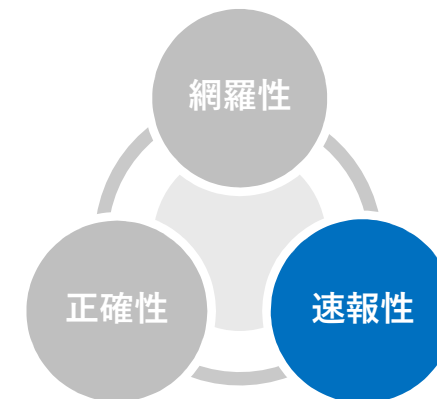
2009年以降、約10年に亘ってAI技術を磨き、品質向上を促進。これにより、自社メディアでの利用だけでなく、多くの金融機関に利用される正確性を持つ情報の自動生成技術に発展。10年目の2019年には金融機関の営業課長のような役割を担う「営業支援エンジン」を開発



事業面での特徴：速報性

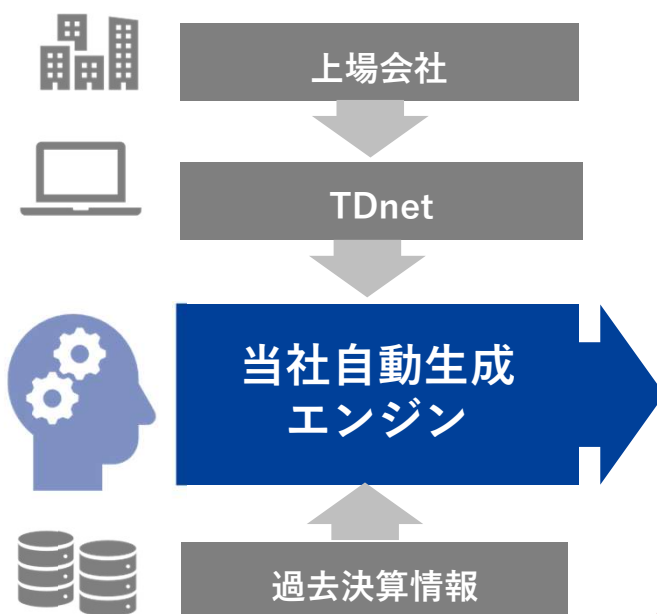
瞬時に情報を配信

情報を取得後、独自の自動生成エンジンを利用して、瞬時に情報を配信。決算速報ニュースであれば、各企業の決算発表からTDnetを通じて瞬時に情報を取得し、決算発表から0分で質の高い記事をどこよりも速く配信



発表から即時に各社の特徴を把握したニュースを発信

例：MINKABU PRESS



2019年5月9日
ソフトバンクグループ <9984> 決算発表

S B G、前期税引き前は4.4倍増で4期ぶり最高益、今期業績は非開示、実質増配へ

ソフトバンクグループ <9984> が5月9日大引け後(15:00)に決算(国際会計基準=IFRS)を発表。19年3月期の連結税引き前利益は前の期比4.4倍の1兆6913億円に急拡大し、4期ぶりに過去最高益を更新した。なお、20年3月期の業績見通しについては配当(44円)以外は開示しなかった。

同時に、今期の年間配当は44円とし、6月27日割当の株式分割を考慮した実質増配は100.0%増配とする方針とした。

直近3ヵ月の実績である1-3月期(4Q)の連結税引き前損益は1185億円の赤字(前年同期は1791億円の赤字)に赤字幅が縮小し、売上営業利益率は前年同期の6.6%→20.3%に急改善した。

配信時間：2019年5月9日 15:00 (発表から0分)

2019年10月10日
セブン&アイ・ホールディングス<3382>決算発表

セブン&アイ、上期経常は3%増益で着地

セブン&アイ・ホールディングス <3382> が10月10日大引け後(15:30)に決算を発表。20年2月期第2四半期累計(3-8月)の連結経常利益は前年同期比3.2%増の2032億円に伸びたが、通期計画の4145億円に対する進捗率は49.0%となり、5年平均の49.2%とほぼ水準だった。

会社側が発表した上期実績と通期計画に基づいて、当社が試算した9-2月期(下期)の連結経常利益は前年同期比0.8%増の2112億円とほぼ横ばいの計算になる。

直近3ヵ月の実績である6-8月期(2Q)の連結経常利益は前年同期比2.2%増の1144億円となり、売上営業利益率は前年同期の6.5%→6.7%とほぼ横ばいだった。

配信時間：2019年10月10日 15:30 (発表から0分)

業績面での特徴



業績面での特徴：再現性

再現性

効率性

拡張性

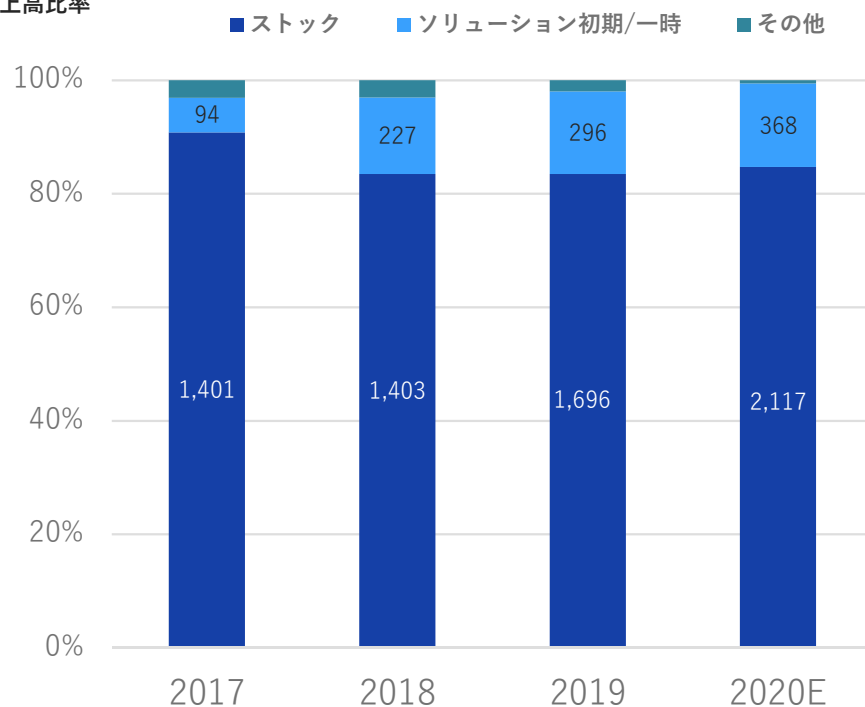


毎期80%以上をストック型の売上高で構成しながら成長。

2018年3月期以降、新商材の導入が続くソリューション事業の

初期スポット売上の増加は翌期の固定のストック収入の増加に繋がる

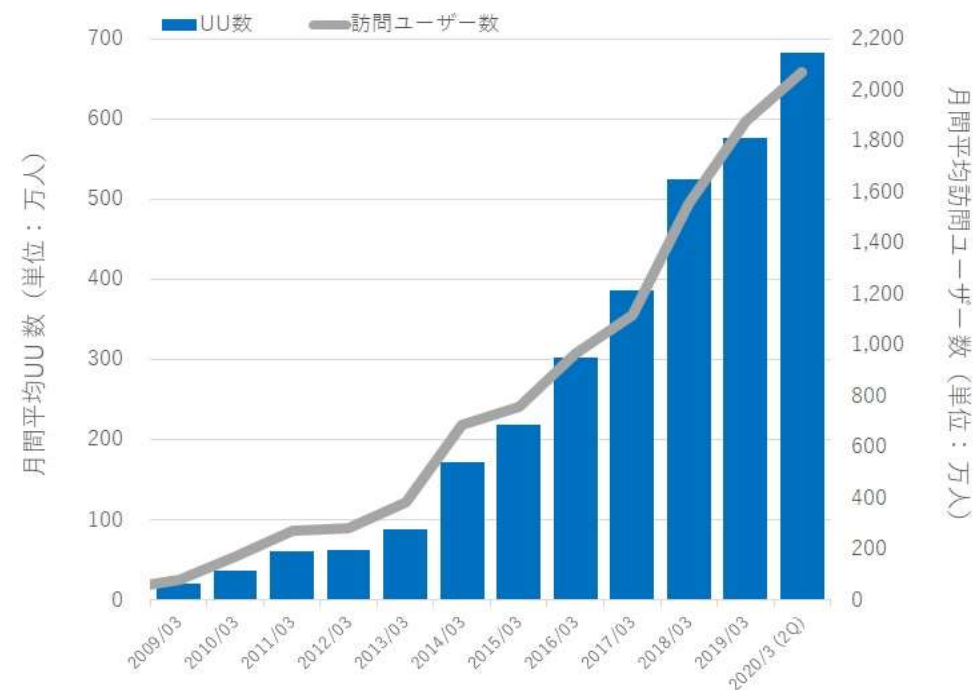
売上高比率



※2017=2017年3月期
 ※2017の数値は連結/2018の数値は連結（未監査）
 ※ストック=ユーザートラフィックから産まれるメディア広告収入+メディア月額課金収入+ソリューション月額利用料、月額保守料
 ※百万円未満切り捨て

成長を続ける当社メディア事業のユーザー基盤

(月間平均UU数、月間平均訪問ユーザー数)



業績面での特徴：効率性

効率性

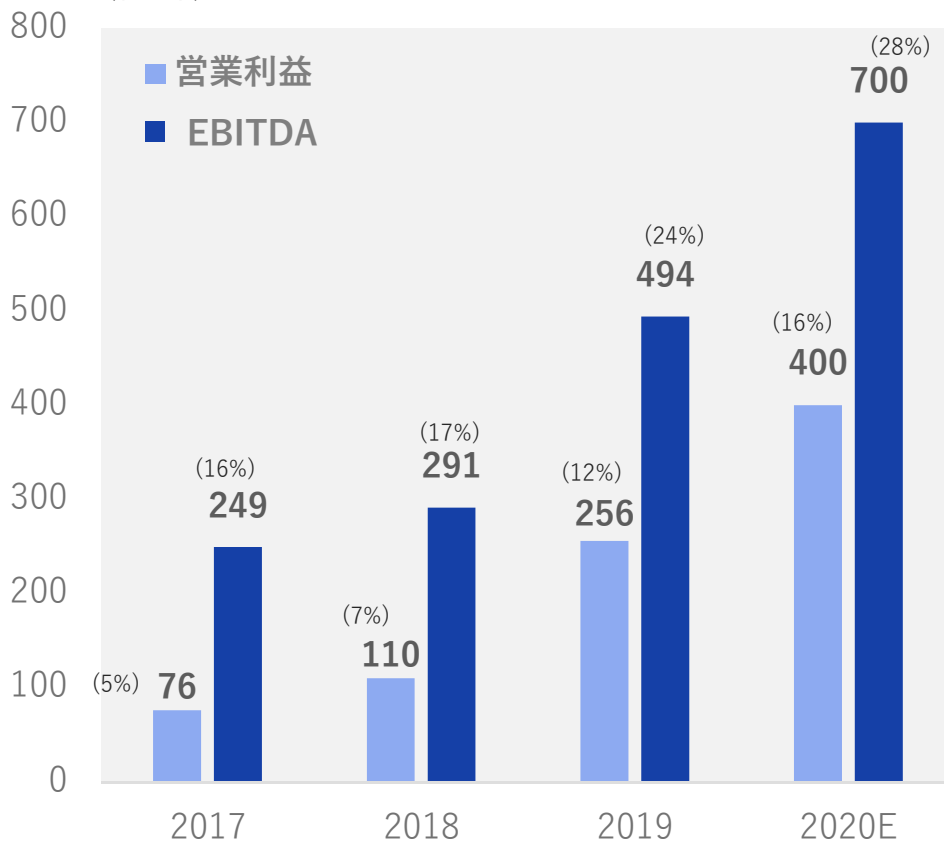
再現性

拡張性



増収により利益率が向上する効率的なモデル

百万円（利益率）



※2017 = 2017年3月期
 ※2017の数値は連結 / 2018の数値は連結（未監査）
 ※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額
 ※百万円未満切り捨て

- 人員増や増床等、事業基盤強化で固定費が増加しているものの、当社資産である、ビッグデータ、AIエンジン、ユーザー基盤を活用した収益化のため、ローンチした商材のアップセルは利益に直結
- メディア事業は、ユーザー基盤の拡大を広告収入と月額課金収入で収益化。ソリューション事業は、自社コンテンツ・サービスをASPモデルで拡販し、初期設定費（スポット）と月額利用料（ストック）で収益化
- サービスの拡充ならびに質の向上のための開発投資を行うことで継続的な収益の拡大を目指していることから、EBITDAの成長を重要視

業績面での特徴：拡張性

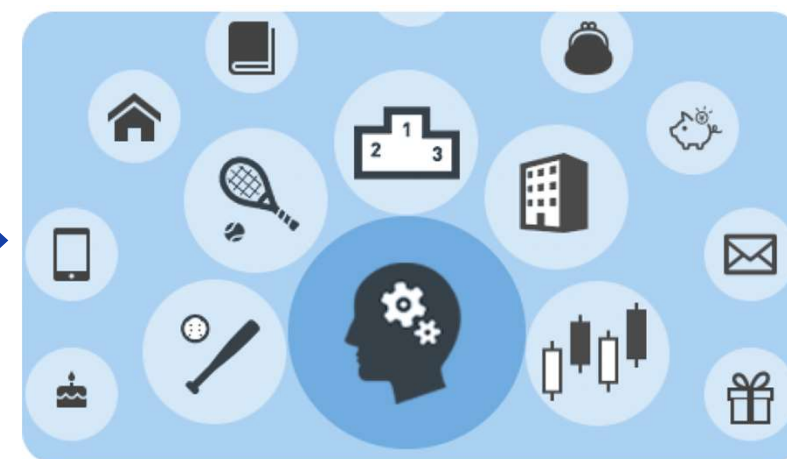
拡張性

再現性

効率性



独自の情報技術とそれが産み出す事業上の特徴は、
金融・経済分野だけでなく、スポーツ等、他分野へも応用が可能
将来の業績面での拡張に繋がる

Automation
Expansion
Crowd Input
**Artificial
Intelligence**




01

ビジネスモデル

.....

4

02

2020年3月期2Q実績

.....

15

03

2020年3月期通期計画

.....

26

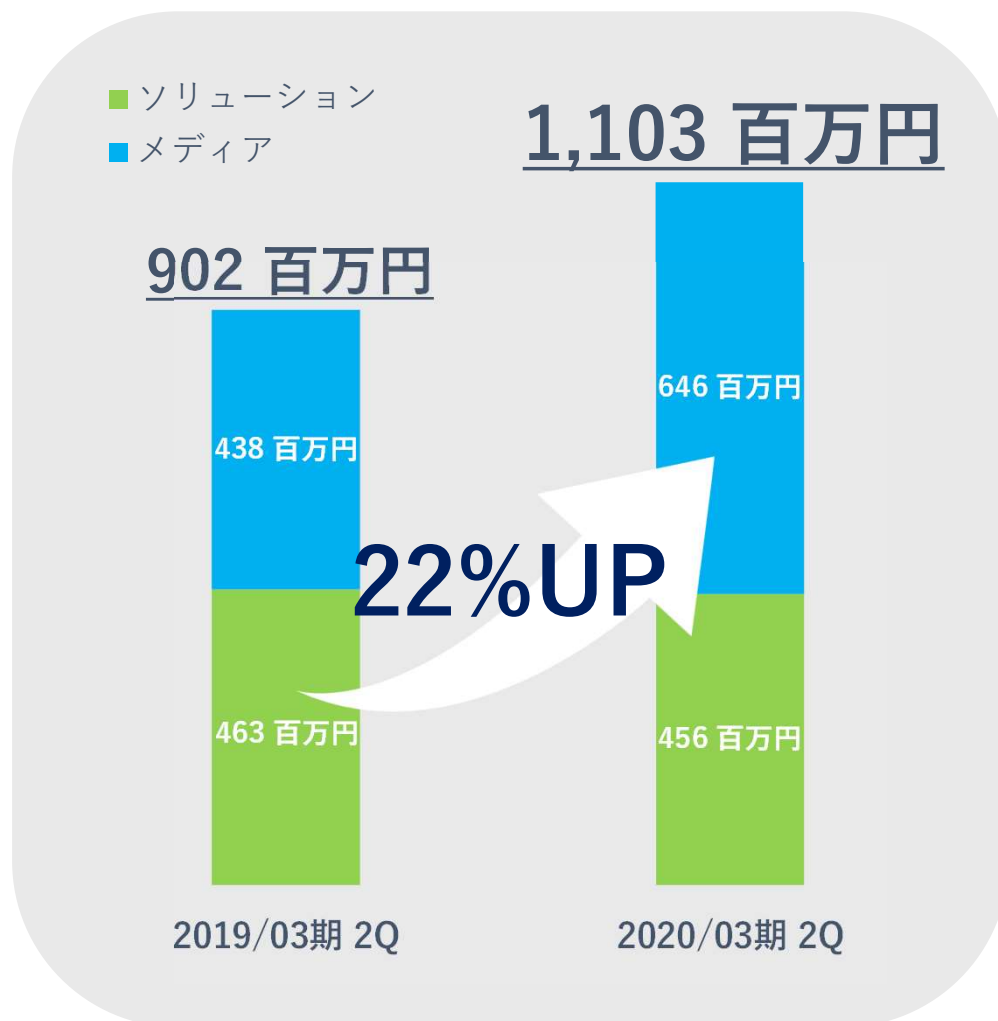
04

APPENDIX

.....

37

売上高 は前年同期比「22%増」



トラフィック増を背景にメディア事業が好調に推移し、1Qから引き続き全体を牽引

ソリューション事業はストック売上増大が前年同期に発生した大型スポット売上の反動減を相殺する等、順調に推移

※「2019/03期2Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

※百万円未満切り捨て

順調な人員獲得等で固定費は増加

- オフィス・インフラ費用
- 人件費
- 減価償却費

423 百万円



2019/03期 2Q

541 百万円



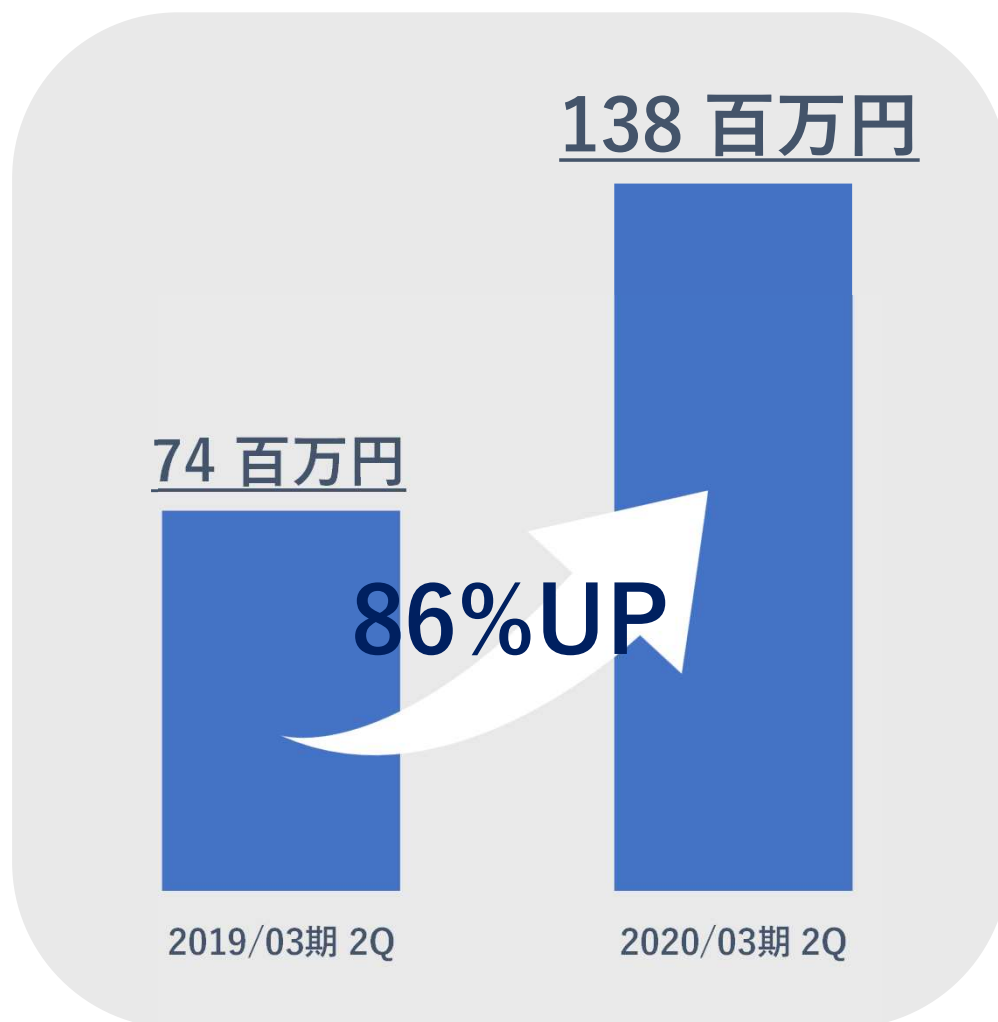
2020/03期 2Q

事業領域拡大に伴う人件費増、
前期下期に実施のオフィス増床、
新サービス等のリリースに伴う
ソフトウェア減価償却の増加に
より、固定費は増加

※「2019/03期2Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

※百万円未満切り捨て

営業利益は前年同期比86%増（1.8倍）



※百万円未満切り捨て

効率性の高いビジネスモデルが奏功し、
固定費の増加を吸収

売上増に伴い営業利益率は
前年同期の8.2%→12.6%へ改善

営業利益は前年同期比1.8倍
経常利益も同1.8倍

※「2019/03期2Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

EBITDAは281百万円



※百万円未満切り捨て

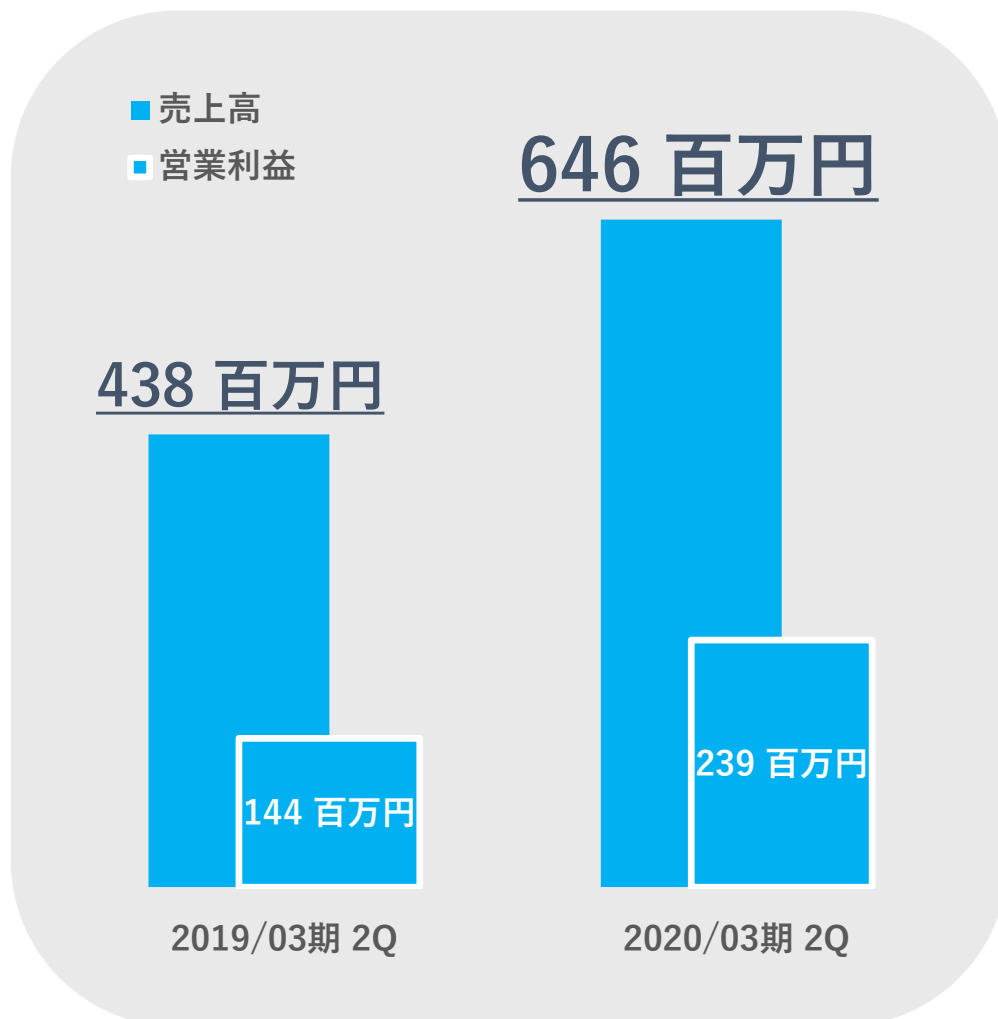
EBITDAは前年同期比57%増の2.8億円

中長期の成長を支える新サービスの順調なリリースを反映し、減価償却費が増加

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※「2019/03期2Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

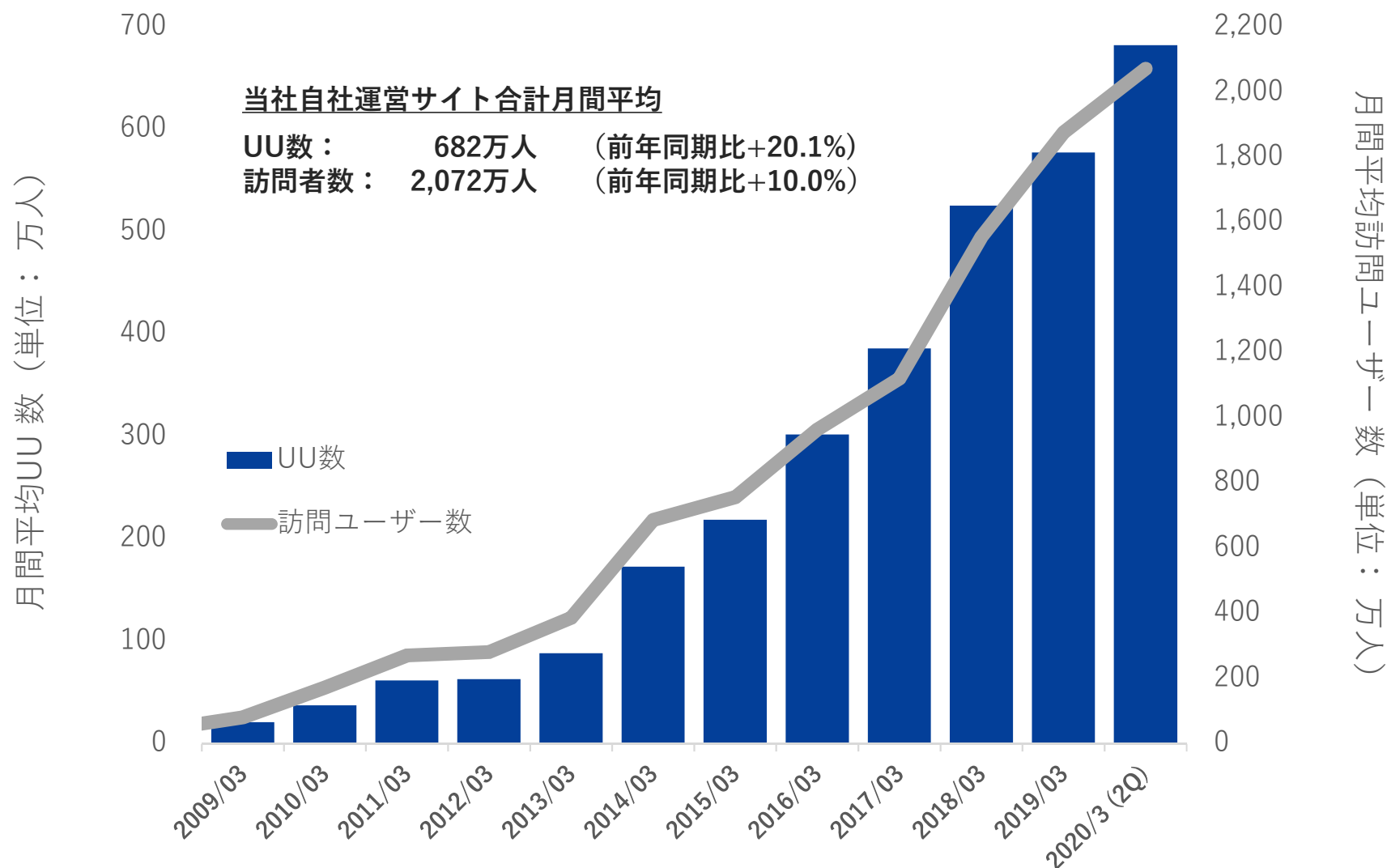
メディア：47%増収・65%営業増益



ユーザー数の増加や
主要キーワードのSEO改善に伴い、
広告収入が好調に推移。
課金収入も堅調

※「2019/03期2Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

メディア：利用者数は好調に推移



メディア：広告収入49%増



※百万円未満切り捨て

SEO好調によるユーザー数の増大
及び広告単価の上昇等が牽引し、
広告収入は前年同期比49%増

※「2019/03期2Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

メディア：課金収入堅調

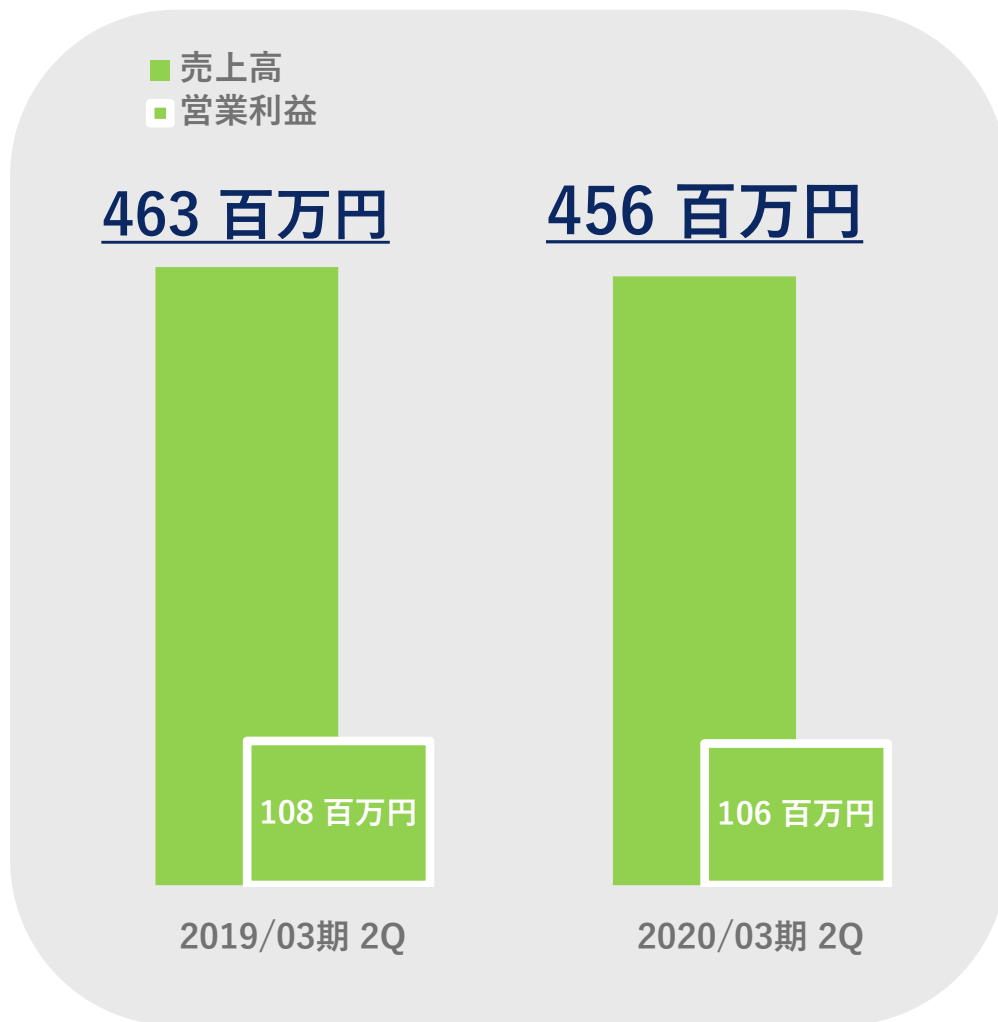


※百万円未満切り捨て

会員数は純増を維持し順調に推移

※「2019/03期2Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

ソリューション：順調に推移



※百万円未満切り捨て

前年同期に発生した大型スポット売上の反動減及び事業拡大に伴う固定費増を、ストック売上の増加が吸収

※「2019/03期2Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

ソリューション：ストック収入9.8%増



※百万円未満切り捨て

前年度のスポット売上が
その後のストック収入として
収益に貢献を開始

※「2019/03期2Q」の数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基き、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。



01

ビジネスモデル 4

02

2020年3月期2Q実績 15

03

2020年3月期通期計画 26

04

APPENDIX 37

【2020年3月通期計画テーマ】

1. 前期に導入したサービスの収益貢献の開始
2. 新しい課金サービスの導入に向けた開発の推進
3. スポーツ情報分野への参入に向けた開発の推進
4. 中長期的な成長、事業基盤の強化を目的とした人員増強
5. 外部パートナーとの提携強化、新規サービスの構築

前期に導入したサービスの収益貢献の開始

みんかぶ保険

- 三菱UFJフィナンシャル・グループの子会社である、Japan Digital Designとの協業案件
- 保険ロボアドバイザーの金融機関向けホワイトレーベルを展開中
- 伊予銀行、京都銀行、武蔵野銀行、西日本シティ銀行、七十七銀行、山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行等で導入済み

みんかぶ不動産

- 2019年2月にサービスを開始した、不動産投資に特化した情報サイト
- トラフィック数も順調に推移
- 今後、外部パートナー企業の不動産投資物件情報APIと接続し、物件情報量の拡充を計画



金融機関営業員向け情報ソリューション Sales-Cue MINKABU の提供開始

10月29日よりSBIマネープラザ向けに提供を開始

取扱商品
の多様化

提案の
複雑化

タイム
リーな
情報提供

- 当社独自の視点を組み入れた情報コンテンツを多数搭載
- 顧客プロフィールをベースにAIを活用した提案機能を付加



株や投資信託などの
マーケット情報



購入履歴や趣味・嗜好などの
顧客情報

例：株を保有するお客様へ投資信託をレコメンド



P社の株式を保有
Bさん

提案内容レコメンド
投資信託買い
Xファンド 200万口
約2,000万円

ひとりひとりの顧客に最適な
クロスセル提案



Sales-Cue MINKABU 豊富な情報系機能

● 基本コンテンツ

金融機関における営業員向け情報端末として必須の「基本コンテンツ」をより分かりやすいUIで表示

株価指数・為替・金利

国内株式

各種ニュース

ETF/ETN/REIT

投資信託

経済指標カレンダー

為替・金利

米国株式

● オリジナルコンテンツ

- ・ 決算情報 × ビジュアル決算
- ・ 企業情報 × テーマ
- ・ 企業情報 × 保有ブランド
- ・ 企業情報 × 大株主情報
- ・ チャート × ニュース
- ・ 業績情報 × 修正履歴、等



Sales-Cue AIを活用した多彩な機能

● アラート機能

当社ニュース記事の速報性の高さを活かし、AIがお客様の保有する銘柄の決算発表や、騰落率の動き等を適時に通知するアラート機能でお客様との絶好の接触タイミングを捉えます

商品アラート

商品アラート	ウオッチリスト登録	カテゴリ
株式		価格アラート
株式		価格アラート
株式		価格アラート
株式		決算
投資信託		騰落率アラート
投資信託		償還日
株式		CA
株式		
株式		
株式		

決算発表予定日が近づいています。
アラートを消す

アラート種別

- | | |
|-------------|---------------|
| 【株式】 | 【投資信託】 |
| ・ 価格アラート | ・ 価格アラート |
| ・ 騰落率アラート | ・ 騰落率アラート |
| ・ CAアラート | ・ 償還日アラート |
| ・ 決算アラート | |



個別銘柄詳細ページへ
提案内容を多角的に確認可能

口座	口座番号	顧客ID	お客様名	コンプラランク	年齢	種別
国	01-1111111	1000001	一本木一郎	A	19	個人
国	02-2222202	1000002	二本木太郎	B	39	法人
国	013-1111113	1000003	三本木太郎	C	54	個人

コース名	金額	顧客ID	種別
IFAコース			
コールセンターコース	0円	011111111	既誌
ダイレクトコース	0円	032111111	既誌

エンジンは学習を繰り返すことにより、
提案内容の精度を向上させていきます

アラート該当銘柄を保有しているお客様や、
注文・売買履歴等より、潜在顧客をピックアップ！

Sales-Cue AIを活用した多彩な機能

● サジェスト機能

独自のAIが、お客様の属性・過去の売買履歴・資産状況等を基に選別し、「見込みリスト」を自動で作成します。AIがお客様の抽出を行うことで、取引成立確度を高めます

【(本日の)見込リスト】

累計接触回数	最終接触日	口座番号	コンプラランク	お客様名	おすすめ度	おすすめタイプ	銘柄
27	2019/08/26 20:00	01-1111111	A	一本木一部	低	大型も高配当&割安	
27	2019/08/26 20:00	01-1111111	A	一本木一部	高	高配当	
27	2019/08/26 20:00	01-1111111	A	一本木一部	高	割安成長	
27	2019/08/26 20:00	01-1111111	A	一本木一部	高	割安成長	
27	2019/08/26 20:00	01-1111111	A	一本木一部	低	割安追求	
27	2019/08/26 20:00	01-1111111	A	一本木一部	低	割安追求	
27	2019/08/26 20:00	01-1111111	A	一本木一部	低	大型も高配当&割安	
27	2019/08/26 20:00	01-1111111	A	一本木一部	低	大型も高配当&割安	
27	2019/08/26 20:00	01-1111111	A	一本木一部	高	大型も高配当&割安	
1	2019/01/03 16:10	02-2222202	B	二本木大部	高	高配当	

顧客名をクリックすると該当顧客の詳細が表示される。

投資 0331413L 高大型も高配当&割安

口座番号: 01-1111111 顧客No: 1 証券営業員名: shuyan
 一本木一部 (****) 生年月日: 1999年11月28日 (19歳) 性別: 男性 職業: NSA 内部番号
 0311111111 090-0000-0000 090-0000-0000

基本情報 | 保有商品 | 振替履歴/投資期間 | ゴートフォリオ | ヒアリング

顧客種別/性別	個人/男	口座開設日	2019/01/20
ユーザーネーム	徳本好彦	加入者口座コード	991991
ID/PW交付状況	無/有	入金先	みずほ銀行 会津支店 普通 123
勤務先名	〇〇株式会社	出金先	みずほ銀行 会津支店 普通 123
国籍	-	連絡不可時間帯	午後

【商品からリスト作成】※開発中

商品を探す

商品コード・商品名

取引商品

株式 国内株式 米国株式

投資信託 国内株式型 国際債券型 派生商品型

国際株式型 複合商品型 公社債投資型

国内債券型

商品分類

商品名

保有人数

国内株式 0名/2

ウォッチリスト一覧

顧客ID	お客様名	年齢	登録日時	アラート	銘柄アラート登録日時	アラート	選択
五本木大部	159	2019-08-08	時価額2,330,下 限2,400,上限2,000	08/11/11111			
五本木大部	159	2019-08-08	騰落率アラート登録時価格2,330,下落率-5%,上昇率+10%,価格8473の騰落率は10以上または50以下になったら、通知	08/11/11111			
五本木大部	159	2019-08-08	CAコーポレートアクション編者8月末までに、8473に何かCAが発生したら通知	08/11/11111			

チェックボックスで、瞬時にリスト作成。

その他開発推進中案件

■ BtoC向け課金サービス

- 株式、FX、投信、仮想通貨、コモディティ等、当社メディアを横断する幅広いユーザーを対象とした資産形成支援ツール
- 今期末のリリースを予定



※サービス名は仮称

■ スポーツ情報サービス

- 国内最大級のスポーツデータベンダーであるデータスタジアム株式会社との協業案件
- Crowd InputとAIの組み合わせによるボトムアップでのコンテンツ生成により、網羅性・速報性・正確性を兼ね備えたサービス展開を目指し、開発は順調に進行中

「みんなのお金フォーラム2019」

資本提携関係の朝日新聞社、協業関係のYahoo!ファイナンスとの共同開催にて、当社にとって初となる大型イベント「みんなのお金フォーラム2019」を開催いたしました。多数のご来場、誠にありがとうございました。



みんなの
お金
フォーラム
2019

2019年9月7日(土)
ベルサール汐留

START 10:00 / CLOSE 18:00
「汐留駅」徒歩5分/「新橋駅」徒歩8分/「東銀座駅」徒歩9分

共同開催 **朝日新聞** **みんなの株式** **YAHOO! JAPAN** ファイナンス

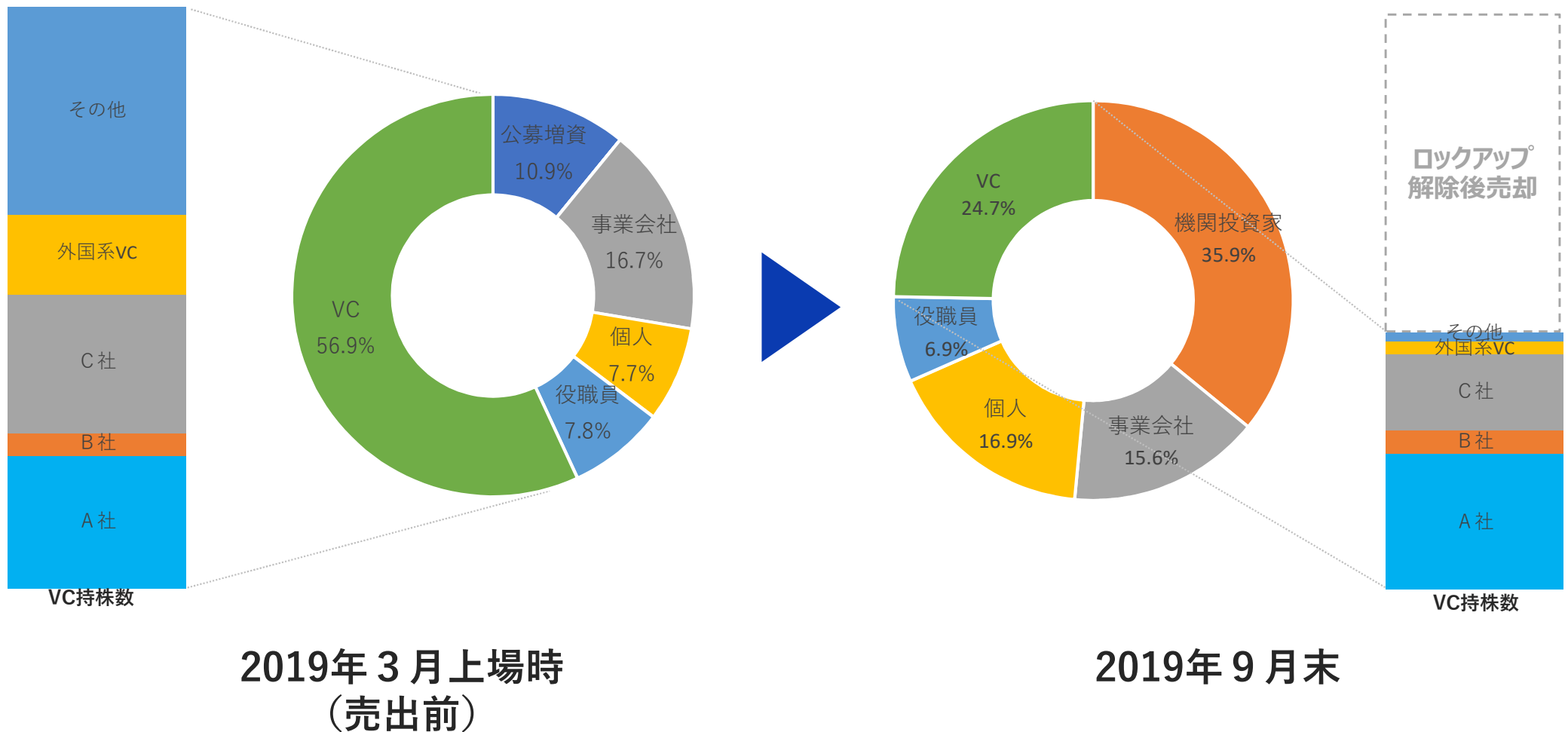
9月7日(土)開催 国内最大級 個人投資家向けイベント
イベントは終了いたしました

- 当初想定を大きく超える約1,800名の来場者
- カスタマーエンゲージメントの向上や新たなファンづくりのため、継続開催を検討



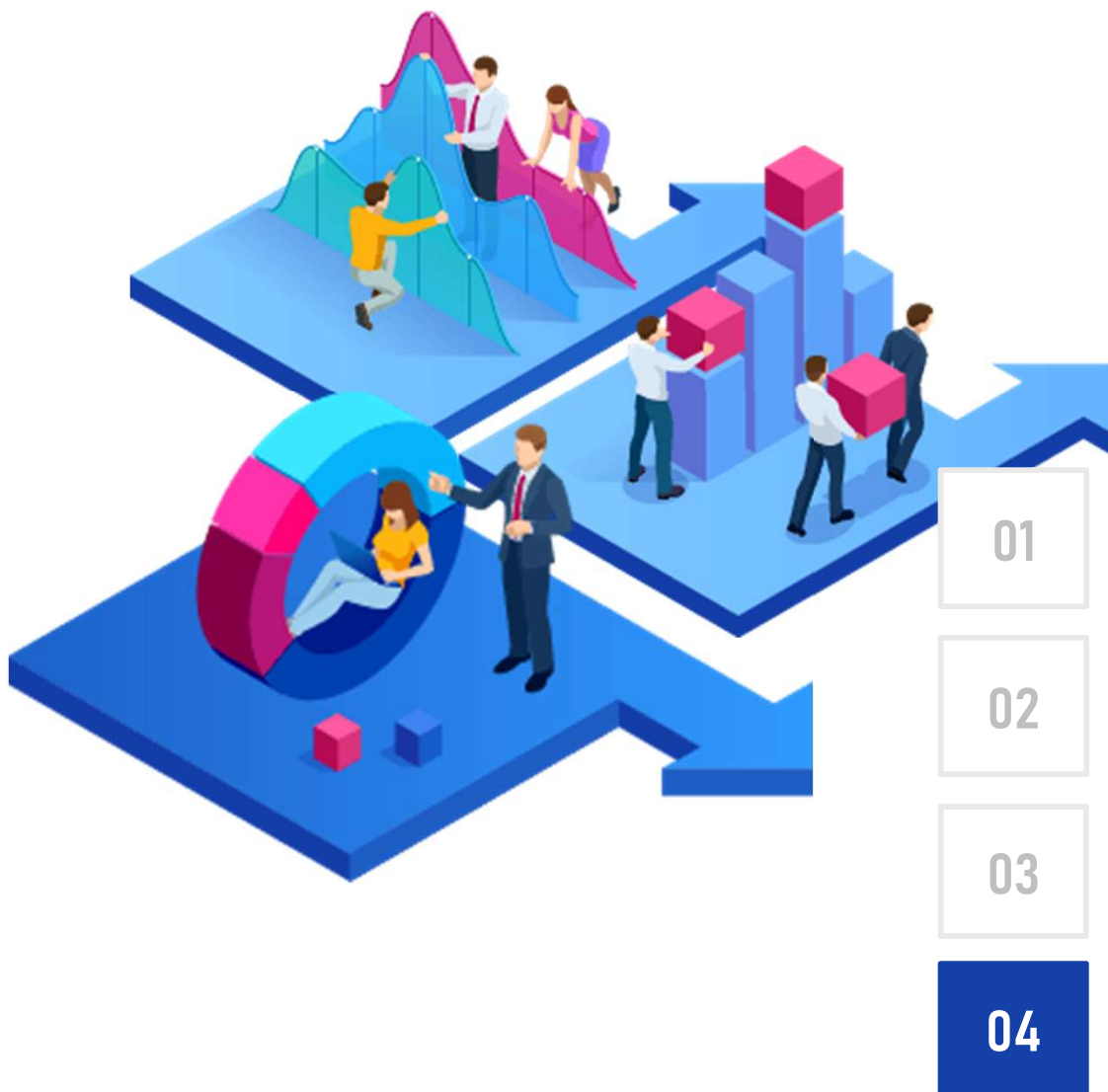
株主構成の推移

ロックアップ解除（6月17日）から9月末までにVCの売却が進行





情報の価値を具現化する仕組みを提供する



01

ビジネスモデル

..... 4

02

2020年3月期2Q実績

..... 15

03

2020年3月期通期計画

..... 26

04

APPENDIX

..... 37

PL推移

(単位：百万円 / %)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期計画		2019年3月期	2020年3月期	
	(連結)	(単体)	(単体)	前期比	2Q (単体)	2Q (単体)	前期比
売上高	1,681	2,032	2,500	+23.0%	902	1,103	+22.3%
メディア	763	953	1,118	+17.3%	438	646	+47.4%
ソリューション	989	1,078	1,381	+28.0%	463	456	△1.4%
調整額 ※1	△72	-	-	-	-	-	-
営業利益	110	256	400	+55.7%	74	138	+86.4%
メディア	141	294	411	+39.6%	144	239	+65.0%
ソリューション	237	340	453	+33.1%	108	106	△1.7%
調整額 ※2	△268	△378	△465	-	△179	△207	-
経常利益	71	208	370	+77.5%	72	133	+85.2%
当期純利益	△200	253	370	+46.2%	45	87	+92.8%
EBITDA ※3	291	494	700	+41.6%	179	281	+57.1%

※1 セグメント間の内部売上高の振替高

※2 セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用

※3 EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

※4 当社は2018年3月期に実施した組織再編によりグループを当社に統合し、2018年3月期末において連結対象子会社を有さない非連結会社となっております。

従いまして、2018年3月末時点での連結貸借対照表が存在しないことから、2018年3月期の連結財務諸表にかかる会計監査は実施されておられません。

※5 2019年3月期2Qの数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基づき監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

※6 百万円未満切り捨て

BS推移

(単位：百万円 / %)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 2Q	
	(単体)	(単体)	(単体)	前期末比
流動資産	815	2,395	1,794	△25.1%
うち 現金及び預金	470	2,045	1,311	△35.9%
固定資産	1,170	1,530	1,685	+10.1%
資産合計	1,985	3,926	3,480	△11.4%
流動負債	560	958	520	△45.7%
固定負債	506	281	184	△34.5%
負債合計	1,066	1,239	704	△43.2%
資本金	801	1,558	1,558	+0.0%
資本剰余金	2,824	3,581	3,581	+0.0%
利益剰余金	△ 2,706	△ 2,453	△ 2,365	-
その他	0	0	0	△85.9%
純資産合計	918	2,686	2,775	+3.3%

※1 当社は2018年3月期に実施した組織再編によりグループを当社に統合し、2018年3月期末において連結対象子会社を有さない非連結会社となっております。

従いまして、2018年3月末時点での連結貸借対照表が存在しないことから、2018年3月期は個別決算数値を記載しております。

※2 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を、2018年3月期期首から適用しており、繰延税金資産は固定資産の区分に含め表示しております。

※3 百万円未満切り捨て

セグメント売上推移

(単位：百万円 / %)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期計画		2019年3月期	2020年3月期	
	(連結)	(単体)	(単体)	前期比	2Q (単体)	2Q (単体)	前期比
メディア事業	763	953	1,118	+17.3%	438	646	+47.4%
広告収入	691	862	1,025	+18.9%	392	585	+49.1%
課金収入	20	50	77	+52.3%	23	31	+32.8%
その他	51	40	15	△60.4%	22	28	+31.4%
ソリューション事業	917	1,078	1,381	+28.0%	463	456	△1.4%
ストック収入	690	782	1,012	+29.4%	375	412	+9.8%
初期・一時売上	227	296	368	+24.3%	88	44	△49.2%
合計	1,681	2,032	2,500	+23.0%	902	1,103	+22.3%

※ 百万円未満切り捨て



MINKABU THE INFONOID

本資料に記載されている情報のうち、歴史的事実以外の情報は、将来の見通しに関する情報を含んでいます。将来の見通しに関する情報は、当社が現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、評価等を基礎として記載されており、リスクや不確実性が含まれています。当社は将来の見通しに関する記述の中で使用されている想定、期待、予測、評価ならびにその他の情報が正確である、または将来その通りになることは保証いたしかねます。本資料に記載されている情報は、本資料に記載の日付に作成され、その時点における当社の見解を反映するものであり、このため、その時点での状況に照らして検討されるべきものであることにご注意ください。当社は、当該情報の作成日以降に発生した事象を反映するために、本資料に記載された情報を逐次更新及び報告する義務を負いません。